



さかそう通信

上甲 誠(じょうこうまこと)
無所属(1973年阪南市生まれ)
市政相談所: 〒599-0224 阪南市舞4-30-2
電話 072-474-9211 メール mac@j.zaq.jp
ブログ <http://blog.zaq.ne.jp/macjoe2/>

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～ 「さかそう通信」お届けします。



はじめまして。昨年十月二十八日の阪南市議会議員補欠選挙にて当選させて

いただきました、上甲 誠(じょうこうまこと)と申します。阪南市の明るい未来のため、子ども達の楽しい毎日のため、一生懸命頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、このたびは「さかそう通信」として私の市政報告第1号をお届けいたします。皆様により身近に阪南市の行政を感じていただければ、また、阪南市の将来について、より興味を持って様々な意見や感想を頂ければと思います、これから定期的に届けたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

初めての議会 & 一般質問!

去る十二月の「平成24年第四回阪南市議会定例会」にて、「一般質問」をさせていただきます。それもトツプバッターで。めちやくちや緊張しました。

そもそも「一般質問」とは、議会で議員が市長はじめ「阪南市」に対して『行政については何を聞いても構わない』質問で、してもしなくても良いのですが、する場合は一人当たり一時間の持ち時間がいただけます。議長から「一番(私の議席番号です)、上甲誠議員」と指名されると、前に出て行って国旗に向かって礼、市長に向かって礼、それから舞台上がりマイクのスイッチを入れて(↓これ忘れそうになります)「二次質問」をします。終わると私は演台を下り、ちょうど対面にある質問席に移動します。市長から「一次答弁」を頂き、それに対する「二次質問」からは質問席と市長や市の方々のやりとりとなります。これは私の今回のやり方で、特にこうしなればならない、という決まりはないそうなので他の議員さんによっては全然違うやり方もあります。今回、私はトツプバッターだったので前の人の作法を見る事が出来ず、あらか

じめ議会事務局の方に教えてもらったので、初質問となりました。

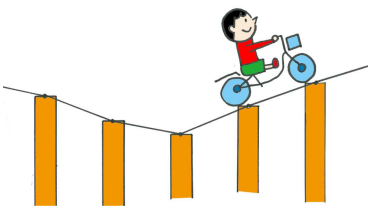
今回、特に思ったのは、阪南市のこれからのこと、大切なことがたくさん話し合われる議会の傍聴に来られる方がとても少ないということです。まあ、平日の日中に行われるのでお仕事されている方は中々難しいかもしれませんが、お時間のある方は是非お問い合わせのうえ、いらっしやってください。

さて、緊張の「一般質問」その内容ですが、私が当選させていただいて一カ月、たくさん資料を拝見し、市役所の皆さんに色々教えていただいた中で、最も聞きたかったこと、最も気になったこと、それは、

「阪南市は人口減少しているから、どうしようもない」
この一言で様々な問題が片付く(というか諦められている)ということでした。私は私なりに資料をまとめ、テーマとして

「阪南市の人口を増加させる取組について」

を挙げ、質問に立ちました。詳細は裏面で報告申し上げます。



上甲誠 市政報告座談会 さかそう会



市政報告を兼ねて、みな様との意見交換会です。
阪南市民の方ならどなたでもご参加いただけます。
日ごろのギモン・質問・意見などお聞かせください。

舞西住民センター 2月10日(日) 9時～10時
光陽台住民センター 2月17日(日) 9時～10時
桃の木台西住民センター 2月17日(日) 13時～14時

上甲誠ブログ

人こそ街なび

ほぼ毎日更新中!

<http://blog.zaq.ne.jp/macjoe2/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!

市政相談・お問い合わせ
お気軽に 上甲誠市政相談所へ



大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

一般質問 阪南市の人口を増 加させる取組について

《質問》

平成24年度から十一年の阪南市の総合計画において、人口予測が減少していることについて詳細を問う。

《市長答弁》

総合計画において将来人口が減少すると設定することは、かつてないことでありますが、我が国全体の人口が平成16年度をピークとして減少傾向にあること、本市域での大型住宅開発が見込めないこと、過大な将来人口の設定は、各施策の個別計画などへの影響が懸念されること等がその背景となっております。

《質問》

人口減少を食い止めるための市の取り組みについて問う。

《市長答弁》

人口減少は我が国全体が人口減少の基調にあることから避けて通れないものと認識しておりますが、若年層世代の定住を促す施策展開や、本市で育った子どもたちが、まさに愛着を深め、将来、まちの活力をもたらす人材となり活躍できるように取り組みが必要と考えております。さらに、平成22年度に実施しました「住民意識調査」では、市外に移る計画

がある人の理由として、「医療・福祉施設が充実していないため」と回答した方が46.4%と最上位になっていきます。

よって、医療の充実、定住の大きな要素であり、そのためにも、平成25年4月新たにオープンします新しい市民病院が本市の魅力づくりの起爆剤になるものと確信しております。

《質問》

「わが国全体が人口減少の基調にあることから避けて通れない」とあるが、大阪府下を見ると、平成22年の国勢調査では泉佐野市、田尻町をはじめとして、大阪府下43市町村のうち46%にあたる20市町で人口が増加している。

市長の意気込みとして、阪南市はこれから人口増加に転じるのだ、と元氣と活力をもって進むのか、問いたい。

《市長答弁》

上甲議員と同じ様な考え方です。人口増加については社会情勢から大きな影響を受けます。阪南市は他市と比べて本当に魅力ある街なのか?ポテンシャル(潜在的な力)はある。住宅市場などが動かないので人口増加は難しいが、阪南市の魅力ある「まちづくり」に一步一步近づいていきたい。

《まとめ》

限られた財政状況の中、できる事を一生懸命、行政全体で、阪南市全体で、一丸となって取り組んでいかなければならない、強くそう思います。市長におかれましては、この喫緊の問題、「阪南市の人口を増やさなければいけない」ということに対して、行政に対しても、市民に対しても、他市に対しても、大きな舵取りをしていただきたい、大きな旗を振っていただきたいという事を、心より願います。

以上、緊張の「一般質問」の抜粋です。自治体や自主防災会のことでも途中質問しました。詳しい内容は私のブログで紹介したいと思います。阪南市のホームページにも議事録が載りますので、そちらもご参照ください。

以上、最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも定期的に阪南市の市政情報やお得情報をお伝えできれば、と思っております。ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲誠を今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠